連続自動供給インクシステムを使ってみて

乙部町立明和小学校
教 頭　佐々木　朗

１．印刷とコスト

モノクロプリンターでは、ランニングコストが安いのはなんと言ってもレーザーでしょう。トナーもリサイクルのを使うと、１枚１円程度ですむであろう。Ａ３まで使えるモノクロレーザープリンタもオークションでは 5000 円程度で入手できます。

カラーでは、レーザー、ジェルジェット、インクジェットがある。レーザーは枚数がとれますが、トナー自体が一本１万 5000 円ぐらいし、それがシアン、イエロー、マゼンダ、ブラックと 4 本もありますので、トータルのコストは高いとはいえませんが、トナー交換を考えるとちょっと二の足を踏んでしまう。

ジェルジェットは、インクで印刷しますが、インクが 5000 円程度でインク量も大容量であり、印刷もきれいなので、大量印刷するのであればお勧めです。

最後、インクジェットプリンタは印刷は最高の品質です。しかし、インクが高いという難点があります。インクは１本 1000 円弱ですが、毎日使うと、頻繁にインク交換をしなければならなく、インクの買い置きをいつもおいておくと言うことになり、馬鹿になりません。

２．今回の購入

私は、あるマニアックな雑誌で、「外付けインクタンク」で永久インク供給システムがあることを知りました。タイではやっているという記事を見つけました。

「外付けインクタンク」その名の通り、プリンタの外に大きなインクタンクを置き、そこからチューブでインクカートリッジにインクを供給するものです。簡単にいうと「点滴」を思い浮かべていただければよくわかると思います。赤、青、黄、黒の４本の細い管からインクが少しずつインクカートリッジに入っていくという仕組みです。

ただシステムの設計上、プリンタヘッドにインクをセットするタイプはだめで、インクカートリッジが固定されているものに限ります。

日本のインクはあまりにも高いと思います。プリンタが１万円前後で買うことがで

きるのに純正インクは、5000 円前後、リサイクルインクでも 3000 円前後します。

インクカートリッジに穴を開けてインクを注射器で注入するシステムもありますが、回数が限られているようです。仕上がりの美しさを求めないような印刷（校内の文書や学級通信など）であれば、安いインクでも十分で、インク代を考えて、カラー印刷にしようかどうか迷うことはなくなります。

「こんなうまい話、本当かなー。きれいに印刷できるのかなあ。」と興味津々、不安と期待半々ですが、Ａ３対応のプリンタと、ネットで見つけた「連続自動供給インクシステムキット」を購入してみました。

購入したもの

○プリンタ～ブラザーＡ３自動両面＆高速プリントＡ３カラー複合機ＭＦＣ－Ｊ５９１０ＣＤＷ（実売価格 20000 円前後）

○Brother 用ＬＣ１１連続供給インクシステム 4980 円

○替えインクボトル（赤、青、黄、黒）４本セット 2630 円

３．セッティングと印刷状況

インクカートリッジの穴に４本のチューブをつなぎ、空気抜きをします。ちょっと手にインクをつけてしまいましたが、セッティングそのものは難しくありません。

どきどきしながら、テストプリントをしましたが、これがすんなりとはいきませんでした。私は、インクがうまく供給できるように高いところにインクボトルをおいたのですが、これが大きな失敗でした。かすれるし、紙が真っ黒くなるし、「こりゃー、やっぱりだめか」と思って、販売店に尋ねたところ、「インクボトルはプリンタと同じ高さにおいて試してほしい。そして、小さな空気穴の方を開けてください。」と親切にアドバイスをいただき、やってみたところ、今まで実用は諦めていたカラー印刷はきれいに印刷できるようになりました。今回のレポート全てがこのプリンタからの印刷です。

たまに紙に黒いのがつくことがあります。何回かヘッドクリーニングをしました。印刷精度は、レポートの程度です。でも、トータルで考えると、太鼓判です。ボトルのインクも減ったのが分からない程度でした。最初のインクでもまだまだまだまだ印刷できそうですし、なくなっても替えインクがあるので、カラー刷り放題という私の感想です。このシステムに挑戦できてよかったと思います。

４．最後に

マニアック、アングラ教師、そう思われるかもしれませんが、やはりこの分野をこよなく愛している者としては、正当な雑誌、ちょっと裏っぽい雑誌、ネット情報など様々な情報に目を通しています。

珍しいもの、ちょっと怪しいもの、いろいろなものに出合ますが、教育に役立てそうかなということはいつも考えています。

今回のレポートも毎月のインク代に頭を悩ませている方には朗報になるのではないでしょうか。

これからも幅広く教育の情報化の最先端情報を入手していきたいと思います。